パワークローラトラクタ取扱説明書
M105D-HPC,M125D-HPC

このたびは本製品をお買いあげいただきましてありがとうございました。この取扱説明書は，**パワークローラ仕様機**について，タイヤ仕様と特に異なる取扱い方法についてのみ説明してありますので，その他の説明については，本編の**取扱説明書**をご覧ください。

小型特殊自動車としての取扱い

■ **免許**

重　要

＊ このトラクタは道路運送車両法上の小型特殊自動車に該当するように製作されていますが，**道路交通法**では，大型特殊自動車に該当します。
従って，公道を走行する場合は，
大型特殊自動車の運転免許証が必要です。
必ず所持してください。

運転前の点検

1. ゴムクローラの張りと亀裂，損傷が無いかを点検し，大きな亀裂や損傷がある場合は交換を行なってください。
2. スプロケットの摩耗を点検してください。
3. 可動部分やゴムクローラへの石などのはさみ込みが無いかを確認し，はさまっている場合は取除いてください。
4. 各部のボルト，ナットのゆるみが無いか点検してください。

運転操作

警　告

＊ 凹凸やカーブの多い所では絶対に高速走行をしないでください。ハンドル操作ができなくなるおそれがあります。
＊ 道路を走行するときは，左右のブレーキペダルを必ず連結してください。
連結しないと，ブレーキが片ぎきになり，車体が急旋回して，転倒・転落・衝突などの事故を引起こすおそれがあります。

1. 走行速度は，タイヤ仕様とは異なります。主要諸元の**［走行速度表］**を確認してください。
2. ほ場での旋回は速度を下げ，ハンドルとブレーキ（片ブレーキ）を併用してください。
詳しくは本編の**取扱説明書**をご覧ください。
片側クローラをロックしての急旋回は，ほ場を荒しますので切返しでの旋回をお奨めします。

重　要

＊ 機械保護のため，急発進，急停止や急旋回など，無理な操作はしないでください。

補　足

＊ 長距離の移動の際には，前輪タイヤ及びゴムクローラの早期摩擦防止のためにトラックやトレーラに積んで輸送することをお奨めします。
＊ 上記以外の取扱い操作は，タイヤ仕様のトラクタと同じです。本編の**取扱説明書**をご覧の上安全に操作してください。

AJ．C．1-1．1．K　品番 3P390-4965-1

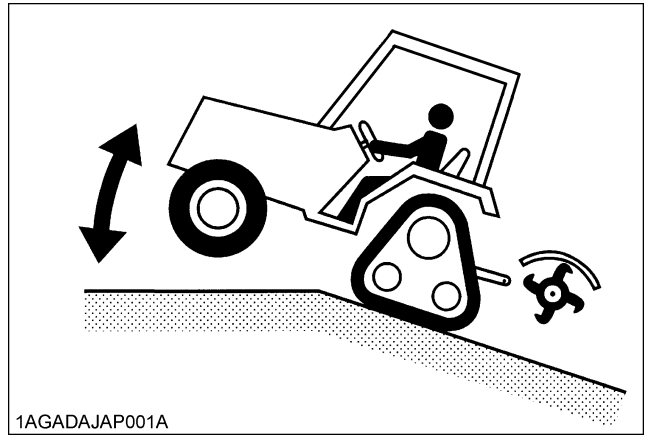
⚠安全に作業するために

本パワークローラトラクタは，タイヤ仕様と違いますので，必ずこの**取扱説明書**をよく読み理解した上で安全作業をしてください。

運転時に

注　意

＊ クローラ部が凸部を乗り越えるときは，急に姿勢が変わりますのでじゅうぶん注意してください。

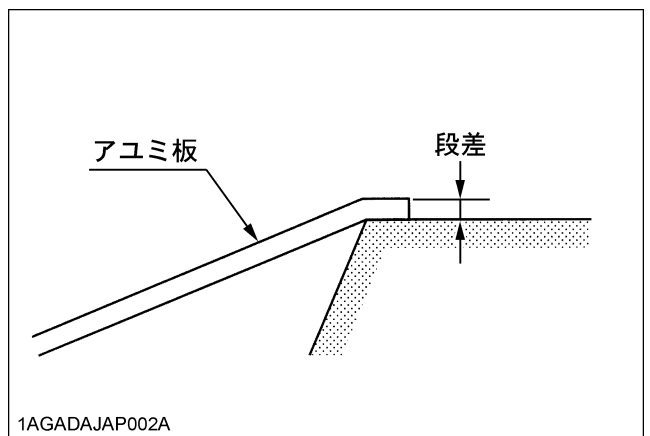
1AGADAJAP001A

ほ場への出入り時の注意

注　意

＊ アユミ板は左右の先端をそろえ，前後にずれないように確実に固定してください。

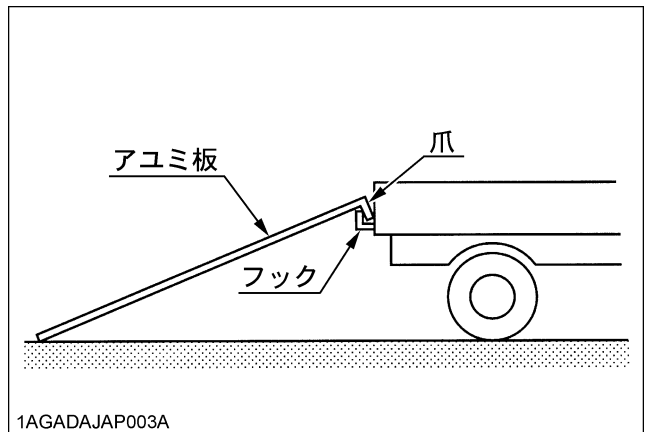
＊ アユミ板とアユミ板を掛けた面との段差が大きい場合，運転には特に注意してください。

＊ クローラの片側だけが段差に引っかかり乗り上がらない状態になった場合，いったん車両を元に戻し，アユミ板をかけ直してはじめからやり直してください。

1AGADAJAP002A

作業時の注意

注　意

＊ クローラの構造上，左右に大きな段差のある状態で作業を行なうと，クローラが外れる場合があります。プラウ作業などで片側のクローラを溝に落としての作業は行なわないでください。

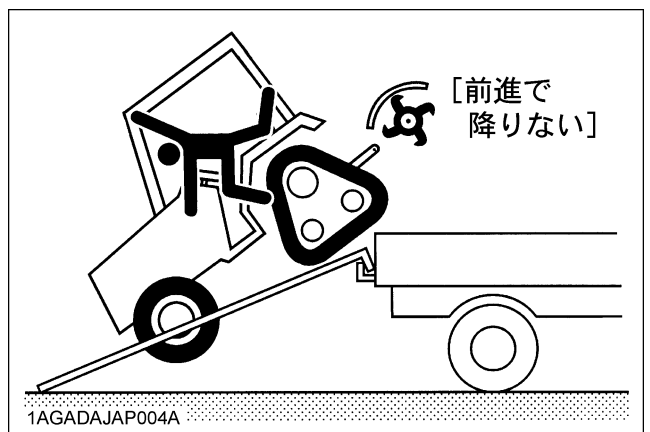
1AGADAJAP003A

トラックへの積み・降ろし

注　意

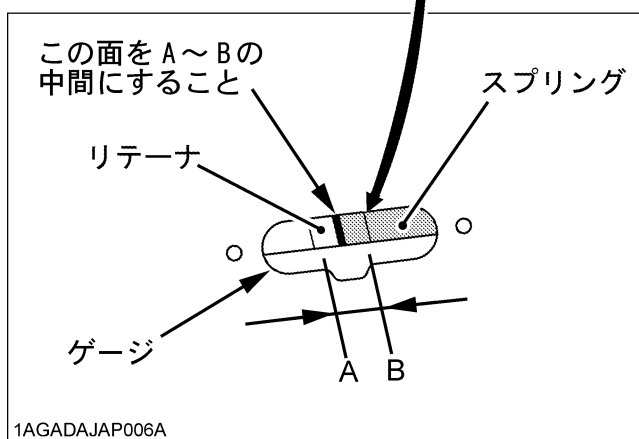
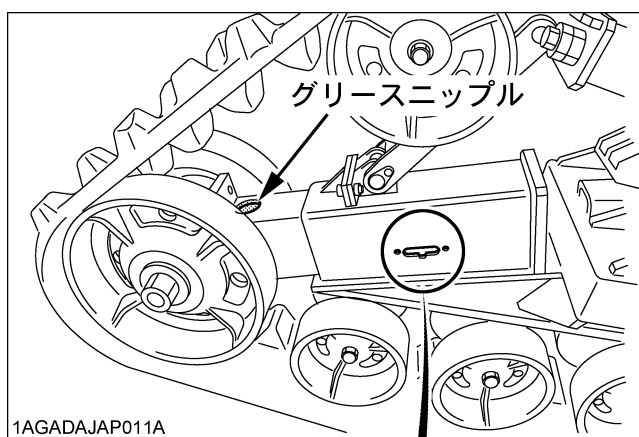
＊ アユミ板は，じゅうぶんな強度・幅・長さ（傾斜が 15 度以下になる長さ：トラックの荷台高さの 4 倍以上）のあるすべり止め及び爪付きのものを使用し，パワークローラトラクタの重量でアユミ板が傾いたりしない場所を選んでください。

＊ トラックは荷台後部にアユミ板の爪を掛けるフックが付いたものを使用してください。

＊ トラックへの積み・降ろしは，必ず左右のブレーキペダルを“連結”し，前進で積み込み，後進で降ろしてください。前進で降りると，クローラがアユミ板の段差ですべり，前輪が浮いて車体が旋回し，転倒事故につながるおそれがあります。

1AGADAJAP004A

保守管理

■ ゴムクローラの張り調整

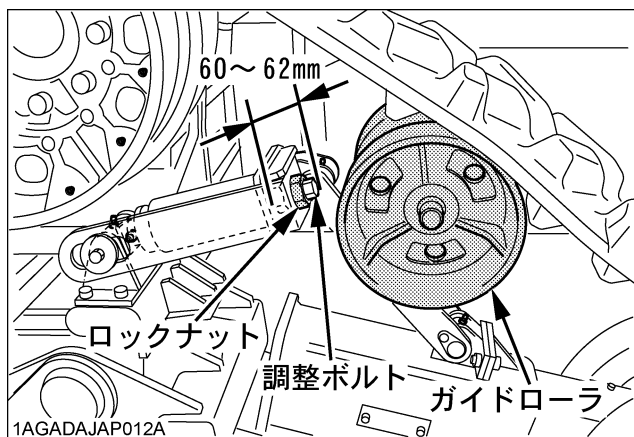
1. ゴムクローラがゆるんだままで使用すると，走行中に脱輪のおそれがありますので，定期的に点検を行なってください。
2. グリースを注入するとゲージ内の面が右方向へ移動し，ゴムクローラが張ります。
   ゲージ内の面がAより左にあるときは,グリースニップルからグリースを注入し，A ～ B の中間になるようにゴムクローラの張り調整を行なってください。
   ゲージ内の面がBより右にあるときは,グリースニップルをゆるめ，グリースを排出することによりゴムクローラの張り調整を行なってください。

■ タイヤ

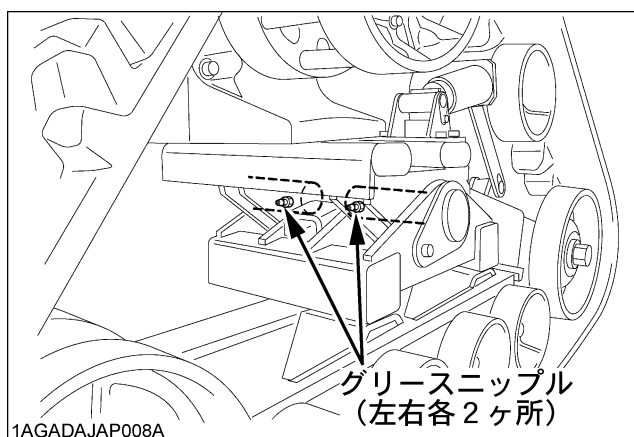
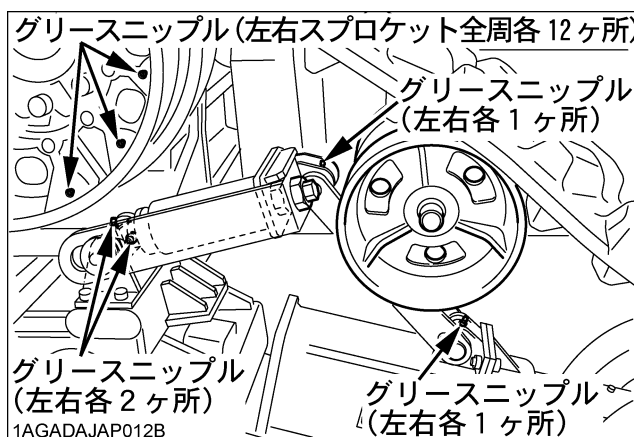
◆ 標準空気圧

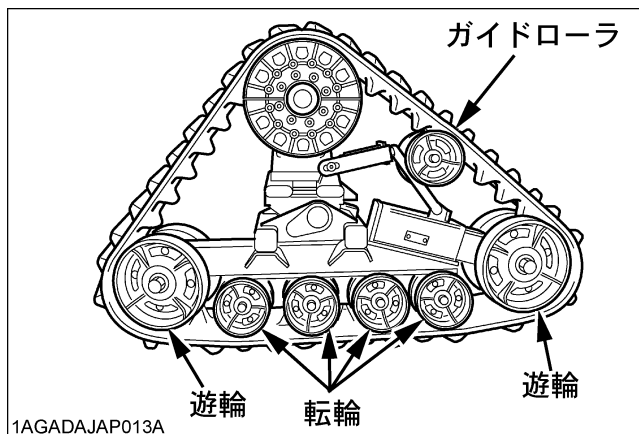
〔　〕内はローダ装着時

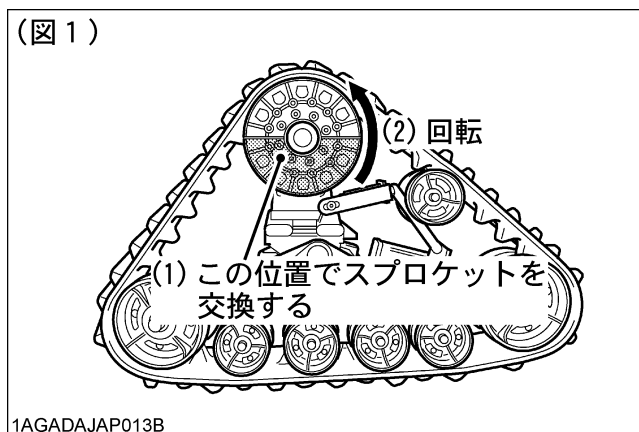
<table>
<tr><th colspan="2">前　　輪　kPa(kgf/cm²)</th></tr>
<tr><td>13.6-24</td><td rowspan="2">160(1.6)〔180(1.8)〕</td></tr>
<tr><td>380/70R24</td></tr>
</table>

■ ガイドローラの調整

ロックナットをゆるめ，調整ボルトの出代を60 ～ 62mm に調整してください。

■ グリースアップ

各グリースニップルより，定期的（50 時間ごと）にグリースの注入を行なってください。

■ クローラの転輪・遊輪・ガイドローラのオイル交換とオイルシール点検

クローラの転輪・遊輪・ガイドローラのオイルは，200 時間ごとに交換してください。又，点検・チェックの上，オイルもれなどの異常があればオイルシールを交換してください。

■ スプロケットの交換

スプロケットは２枚で構成されています。

(1) まず　部で示した下側のスプロケットを新しいスプロケットに交換します。

(2) 次に車軸をゆっくり 180° 回転させ，下側に来たスプロケットを新しいものに交換します。（図１）

(3) スプロケットを交換した後，ゴムクローラの張り調整を行なってください。

■ ゴムクローラの交換

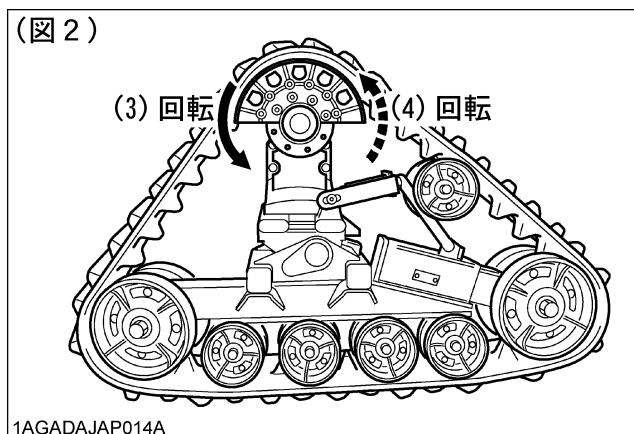
注 意

＊ グリースニップルを短時間に外すと，内部の圧力によりニップルが飛び出すおそれがあるので，グリースニップルを急に外さないでください。

＊ グリースニップルをゆるめるときは，ニップル上面に顔を向けないでください。

(1) クローラ張り用グリースニップルを少しゆるめると，ニップル部よりグリースが噴出し，クローラの張りがゆるみます。

(2) 図１の　部で示した下側のスプロケットを外します。

(3) 上側のスプロケットを残したまま図２に示す位置まで車軸をゆっくり回転させ，古いゴムクローラを外します。

(4) 新しいゴムクローラに置き換えた後，車軸を回転させ，スプロケットにゴムクローラを掛けます。

(5) 外したスプロケットを取付けた後，最後にゴムクローラの張り調整を行なってください。

補 足

＊ オイル，オイルシール，スプロケット及びゴムクローラ交換要領の詳細については，購入先にご相談ください。

主要諸元

■ トラクタ主要諸元

型式名	M105D-HPC	M125D-HPC
エンジン出力／回転数 [kW(PS)/rpm]	77.2(105)/2600	91.2(125)/2400
機体寸法（全長×全幅×全高） (mm)	4100×1980×2700	4370×2180×2700
機体質量（重量） (kg)	4660	5030
前輪輪距 (mm)	1530	1640, 1780(2段)
後輪輪距 (mm)	1580(クローラ)	1780(クローラ)
軸距 (mm)	2440	2690
主変速形式	i-シフト	
車速 (km/h)	1.4〜33.0	1.4〜33.2
前輪タイヤ	13.6-24, 380／70R24	
クローラ幅×接地長さ (mm)	400×1540	
接地面積 (cm^2)	6160	
接地圧 (kgf/cm^2)	0.25	0.26
遊輪／転輪個数	4／8	
駆動方式	4WD	
緩衝方式	揺動式(+15°／−15°)	

※上記仕様は，改良のため予告なく変更する事があります。

■ 走行速度表

(km/h)

	副変速	主変速	速度 M105D-HPC	速度 M125D-HPC
前・後進	クリープ（オプション）	1	0.24	−
		2	0.30	−
		3	0.38	−
		4	0.45	−
		5	0.60	−
		6	0.74	−
		7	0.93	−
		8	1.09	−
	L	1	1.4	1.4
		2	1.7	1.7
		3	2.1	2.1
		4	2.5	2.6
		5	3.3	3.3
		6	4.1	4.1
		7	5.2	5.2
		8	6.1	6.3
	H	1	6.8	6.8
		2	8.5	8.5
		3	10.6	10.6
		4	12.5	12.9
		5	16.7	16.6
		6	20.8	20.7
		7	26.1	25.9
		8	33.0	33.2

給油（水）一覧表

No.	給油（水）項目	容量 (L) M105D-HPC	容量 (L) M125D-HPC	備考	
1	燃料	185	190	ディーゼル軽油	
2	冷却水（リザーブタンク）	9.0 (1.1)	13.0 (1.5)	清水（不凍液を入れた場合は，その量だけ少なく清水を入れてください。）	
3	ウォッシャ液	1.3		自動車用ウォッシャ液	
4	エンジンオイル（フィルタ含む）	10.5	20.8	クボタ純オイル（ディーゼルエンジン用） D30 スーパー CD 又は D10W-30 スーパー CD CC 級使用不可，CD 級以上のみ使用	
5	ミッションオイル（油圧オイル）	67		クボタ純オイル スーパー UDT　又は バイオスーパー UDT	
6	前部デフケース	6.0	12.0		
7	前輪ケース右・左	各 3.5	各 4.5		
8	転輪・ガイドローラ	0.2			
9	遊輪	0.5			
10	各操作レバー支点	注油			
11	グリースの注入	注入箇所		容量	使用グリース
	・3点リンク	3 **［M 仕様］**，5 **［M 仕様以外］**		外部にはみ出すまで注）	極圧（万能）グリース
	・アシストシリンダ	2			
	・前輪ケースサポート	2			
	・全車軸受部	2			
	・クローラサポート	4			
	・スプロケット	24			
	・ガイドローラリンク支点	8		少量	
	・バッテリターミナル	2			
	・ステアリングジョイント軸	1			

注）グリースポンプは手動のハンドガン式のものを使用してください。

アタッチメント一覧表

分類	品　番	品　名	用途・仕様	適　用　機　種		備　考
				M105D-HPC	M125D-HPC	
ウエイト	99651-1200-0	前部ウエイトアッシ (取付け台含まず)	ウエイト 25kg × 4 枚 ボルト 4 枚用	○	○	
	3F860-1210-0	前部ウエイトアッシ (取付け台含まず)	ウエイト 45kg × 4 枚 ボルト 4 枚用	○	○	
	3F740-1700-0	前部ウエイト取付台 アッシ	取付台ボルト含む	－	○	ウエイトは 含まず
	3M940-1700-0	前部ウエイト取付台 アッシ	取付台ボルト含む (16 枚用)	－	○	ウエイトは 含まず
	99651-1211-0	前部ウエイト単体	25kg	○	○	
	3F860-1208-0	前部ウエイト単体	45kg	○	○	
	99651-1213-0	ボルト（前部ウエイト）	(ウエイト 4 枚用)	○	○	
	99651-1212-0	ボルト（前部ウエイト）	(ウエイト 6 枚用)	○	○	
	35452-2181-0	ボルト（前部ウエイト）	(ウエイト 8 枚用)	○	○	
	36710-9718-0	ボルト（前部ウエイト）	(ウエイト 12 枚用)	○	○	
	3M940-9718-0	ボルト（前部ウエイト）	(ウエイト 16 枚用)	－	○	
その他	3M940-9720-0	カバー（ツチヨケ），キット		○	○	
	3P300-9743-0	トレーラ用コネクタ，キット	トレーラ側オスカプラ 33740-9751-0	○	○	
	3P310-9743-0	トレーラ用コネクタ，キット (ヨーロッパタイプ)		○	○	
	3F870-9727-0	クリープキット		○	－	
	3M740-9771-2	フェンダキット（フロント）		○	－	
	3M860-9771-2	フェンダキット（フロント）		○	○	
	35861-8219-0	カプラ，オスアッシ	メネジサイズ NPTF1/2	○	○	
	3A111-8201-0	カプラ，メスアッシ	メネジサイズ 7/8-14-UNF	○	○	
	3M940-9779-0	トレーラ用ブレーキキット		○	○	モンロ仕様以外
	3M900-9018-0	フローコントロールバルブキット		○	○	モンロ仕様以外
	3P300-9747-0	外部右 3P スイッチキット		○	○	
	3P300-9771-0	作業灯（前）キット		○	○	

オイル交換・点検箇所一覧

メンテナンスを行なうことが，高速パワクロの寿命アップと，当用期のトラブルを未然に防ぐことにつながります。下の表にしたがって，メンテナンスを実施してください。本機については，本機の取扱説明書をご覧ください。
交換要領の詳細についてや，不具合があれば，購入先にご連絡ください。
また，高速パワクロを安心してご使用いただくため，1 年に 1 度の入庫定期点検をおすすめします。

■ オイル交換時間一覧

交換箇所	アワーメータ表示時間															
	50	100	150	200	250	300	350	400	450	500	550	600	650	700	750	800
転輪				○				○				○				○
遊輪				○				○				○				○
ガイドローラ				○				○				○				○

■ 日常点検箇所一覧

点検箇所	点検内容
転輪 遊輪 ガイドローラ	オイル漏れはありませんか？ 草の巻付き，石のかみこみ，泥の付着はありませんか？
スプロケット	草の巻付き，石のかみこみ，泥の付着はありませんか？
ゴムクローラ	クローラに大きな損傷はありませんか？
	クローラの張りは適正ですか？
ガイドローラステー	ガタはありませんか？
	ボルトは緩んでいませんか？
スプロケット ガイドローラステー 揺動部	グリースアップを適宜行なってください。 使用条件により異なりますが，目安は 50 時間ごとです。